



Sonarworks SoundID Reference FAQ

- [Sonarworks SoundID Reference と MERGING+ANUBIS パートナーシップとは何ですか？](#)
- [MERGING+ANUBIS は、2022 年 5 月 24 日にリリースされた SoundID Reference マルチチャンネルアップデートをいつサポートしますか？](#)
- [SoundID Reference と MERGING+ANUBIS ソリューションの購入方法を教えてください。](#)
- [MERGING+ANUBIS で SoundID Reference Trial バージョンを使用できますか？](#)
- [MERGING+ANUBIS のプレミアム バージョンを持っていますが、SoundID 参照補正を実行できますか？](#)
- [私のモニタリング設定にはサブウーファー \(2.1\) が含まれています。この場合の対処方法を教えてください。](#)
- [Sonarworks SoundID Reference は、Anubis のモニタリング ミッションとミュージック ミッションの両方で利用できますか？](#)
- [SoundID Reference と Anubis が好きで、5.1 以上で作業したいのですが、どうすればよいですか？](#)
- [Anubis で実行する SoundID リファレンス フィルタートポロジを選択するにはどうすればよいですか？](#)
- [私はSoundID Referenceのトランスレーション チェックが大好きですが、Anubisで使用できますか？](#)
- [Sonarworks 補正によって発生する追加の遅延はどれくらいですか？](#)
- [Anubis を使用していくつのスピーカーセットを修正できますか？](#)
- [Anubis を使用して何個のヘッドフォンを修正できますか？](#)
- [Horus または Hapi DA モジュールの出力で Sonarworks サウンド ID 参照補正を実行できますか？](#)
- [Anubis なしで Sonarworks SoundID Reference を使用できますか？](#)
- [2 台目の Anubis で Sonarworks SoundID Reference の補正を実行できますか？](#)
- [どのサンプリング レートで、SoundID リファレンス補正を使用できますか？](#)
- [SoundID Reference Presetsをインポートする - インポート時に各種パラメータはどうなるのか？](#)
 - [Headphone calibration presets](#)
 - [Speaker calibration presets](#)
 - [SoundUD Referebceソフトウェアから "Listening Spot" 情報を Anubis にマニュアルトランスファーする方法](#)
 - [SoundUD Referebceソフトウェアから "Safe Headroom" 情報を Anubis にマニュアルトランスファーする方法](#)
 - [Filter タイプ](#)

Sonarworks SoundID Reference と MERGING+ANUBIS パートナーシップとは何ですか？



Sonarworks は、SoundID Reference と呼ばれる Mac および PC 用の人気のある 音響空間およびヘッドフォンのステレオ補正ソフトウェアの開発者です。

MERGING+ANUBISは非常に強力なマスタリンググレードのオーディオインターフェースです。

Sonarworks と提携して、ステレオの SoundID Reference 補正プリセット (部屋用かヘッドホン用かを問わず) をエクスポートし、それを Anubis にロードして、Anubis 自体で補正を行うことで、遅延を最小限に抑え、利便性を最大限に高めることができます。

MERGING+ANUBIS は、2022 年 5 月 24 日にリリースされた SoundID Reference マルチチャンネル アップデートをいつサポートしますか？

Merging Technologies は、新たにリリースされたマルチチャンネル アップデートを喜んでおり、Sonarworks と緊密に連携して、近い将来に Anubis に導入する予定です。

SoundID Reference と MERGING+ANUBIS ソリューションの購入方法を教えてください。

Sonarworks 販売代理店から SoundID Reference を購入し、Merging 販売代理店から MERGING+ANUBIS を購入するだけです。

MERGING+ANUBIS で SoundID Reference Trial バージョンを使用できますか？

いいえ。Anubis のサウンド プロファイルをエクスポートするには、SoundID Reference のフル ライセンスが必要です。

MERGING+ANUBIS のプレミアム バージョンを持っていますが、SoundID 参照補正を実行できますか？

MERGING+ANUBIS の Pro バージョンとは異なり、Premium バージョンでは最大 384kHz のサンプリングレートと DXD および DSD が可能です。

定義上、DSD で処理を行うことはできませんが (SoundID 参照補正を含む)、DXD での SoundID 参照補正と、MERGING+ANUBIS の 384kHz を非常に近い将来のリリースで実行できるようになります。

私のモニタリング設定にはサブウーファー (2.1) が含まれています。この場合の対処方法を教えてください。



Anubis は現在、SoundID Reference からエクスポートされたステレオ プロファイルをサポートしています(マルチチャンネルに関する上記の質問を参照してください)。

サブウーファーを使う場合、通常はクロスオーバーを使用します。2 つのシナリオがあります：

- クロスオーバーは、サブウーファー自体の一部である場合があります (L および R 信号はサブウーファーに送信され、サブウーファーはサブの低周波成分を保持し、L および R 入力のフィルター処理された中域 + 高域をサブウーファーに送ります)。
- Anubis はクロスオーバーとしても使用でき、上記のサブウーファーと同じ役割を果たしますが、より多くのコントロールが可能です。

いずれの場合も、SoundID リファレンス測定を行う際に、サブウーファーとクロスオーバーがアクティブであることを確認してください。

Sonarworks SoundID Reference は、Anubis のモニタリング ミッションとミュージック ミッションの両方で利用できますか？

はい。

SoundID Reference と Anubis が好きで、5.1 以上で作業したいのですが、どうすればよいですか？

Merging Technologies は、新たにリリースされたSonarWorksのマルチチャンネル アップデートを歓迎しており、Sonarworks と緊密に連携して、近い将来に Anubis に導入する予定です。

一方、Anubis は本格的なマルチチャンネル モニタリング インターフェイスであるため、サラウンド ユーザーは 84 の内蔵 EQ バンドを使用することができます。

これらは、従来の手動による部屋補正のために、任意のサイズ (5.1、7.1.4、9.1.6 など) の任意のスピーカー セットに割り当てることができます。

現状はSoundIDリファレンス測定プロセスを利用することはできません。

Anubis で実行する SoundID リファレンス フィルター トポロジを選択するにはどうすればよいですか？

SoundID Reference スタンドアロン ソフトウェアとプラグインは 3 つの異なるフィルター トポロジーを提供しますが、Anubis は定評のある Pyramix Mastering EQ-X フィルターに基づいた独自のフィルター トポロジーを実行しています。

これは、世界のトップ マスタリング エンジニアが使用する非常に高品質な低レイテンシー フィルター トポロジーです。



私はSoundID Referenceのトランスレーション チェックが大好きですが、Anubisで使用できますか？

はい。専用のプリセットとして必要なものをエクスポートする必要があります。希望するヘッドフォン/スピーカーのキャリブレーション プリセットと、希望するトランスレーションチェックを組み合わせる必要があります。

このようにして、ワークフローに必要なすべての組み合わせをエクスポートしてください。

Anubis では、これらのプリセットを一度にインポートできます。

Sonarworks 補正によって発生する追加の遅延はどれくらいですか？

44.1kHz: 1.36ms
48kHz: 1.25ms
88.2kHz: 0.68ms
96kHz: 0.61ms
176.4kHz: 0.34ms 192kHz
: 0.32ms
*352.8kHz: 0.17ms
*384kHz: 0.16ms
*印はファームウェア 1.4.4 以降で使用可能

Anubis を使用していくつのスピーカーセットを修正できますか？

原則として、Anubis は 2 つの異なるステレオ信号を同時に修正できます。

一度に 1 つのスピーカー セットを聴いているという前提に基づいて、好きな数のスピーカー セットを修正できます。

対応する補正ファイルを各スピーカー セットにロードするだけで、それらのいずれかを聴いているときにそれらを有効にします。

スピーカーセットで補正が有効になっている場合は、1 組のヘッドフォンを同時に補正することもできます。

Anubis を使用して何個のヘッドフォンを修正できますか？

原則として、Anubis は 2 つの異なるステレオ信号を同時に修正できます。

したがって、スピーカーセットを修正していない場合は、2 つのヘッドフォンを同時に修正できます。

または、1 つのヘッドフォン ペアと任意のスピーカーセットを同時に使用できます。

Horus または Hapi DA モジュールの出力で Sonarworks サウンド ID 参照補正を実行できますか？



はい。MERGING+ANUBIS が構成の一部である限り可能です。

MERGING+ANUBIS は、Horus、Hapi、および Hapi MKII インターフェイスを使用して拡張できる、非常に柔軟なオーディオ インターフェイスです。これらのインターフェイスは、Anubisで修正されたオーディオ信号を受信できます。

Anubis なしで Sonarworks SoundID Reference を使用できますか？

はい。Sonarworks SoundID Reference はプラグインまたはスタンドアロン ソフトウェアとして実行できます。

2 台目の Anubis で Sonarworks SoundID Reference の補正を実行できますか？

Sonarworks SoundID Reference は、すべての MERGING+ANUBIS が同じ SoundID の所有者に属している限り、必要な数の MERGING+ANUBIS で実行できます。

ただし、SoundID リファレンス プロファイルのエクスポートは Anubis のシリアル番号に基づいているため、Anubis ごとにエクスポートする必要があります。

どのサンプリング レートで、SoundID リファレンス補正を使用できますか？

現在、SoundID 参照補正は 44.1 から *384kHz まで使用できます。

DSD はサポートされていません。

*DXD 352.8kHz および 384kHz は、今後のファームウェア 1.4.4 以降でサポートされます。



SoundID Reference Presetsをインポートする - インポート時に各種パラメータはどうなるのか？

SoundID Referenceはプリセットに関連する全てのパラメータをエクスポートしますが、MERGING+ANUBISは全てのパラメータを自動的にインポートするわけではありません。

この記事では、どのパラメータが自動的にインポートされるのか、また、どのようにすればユーザーが手動でインポートすることができるのかを明らかにします。

Headphone calibration presets

パラメーター名	SoundID Referenceからエクスポートされるか？	インポート時にAnubisで読むか？
Target Mode (Flat, Custom, Translation Check)	Yes	Yes
Frequency Response curve	Yes	Yes
Safe Headroom	Yes	No(マニュアル インポートは下記を参照!)
Dry/Wet audio (Level of calibration applied)	Yes	Yes
Filter Type (Low Latency, Mixed or Linear Phase)	No	No(下記参照)

Speaker calibration presets

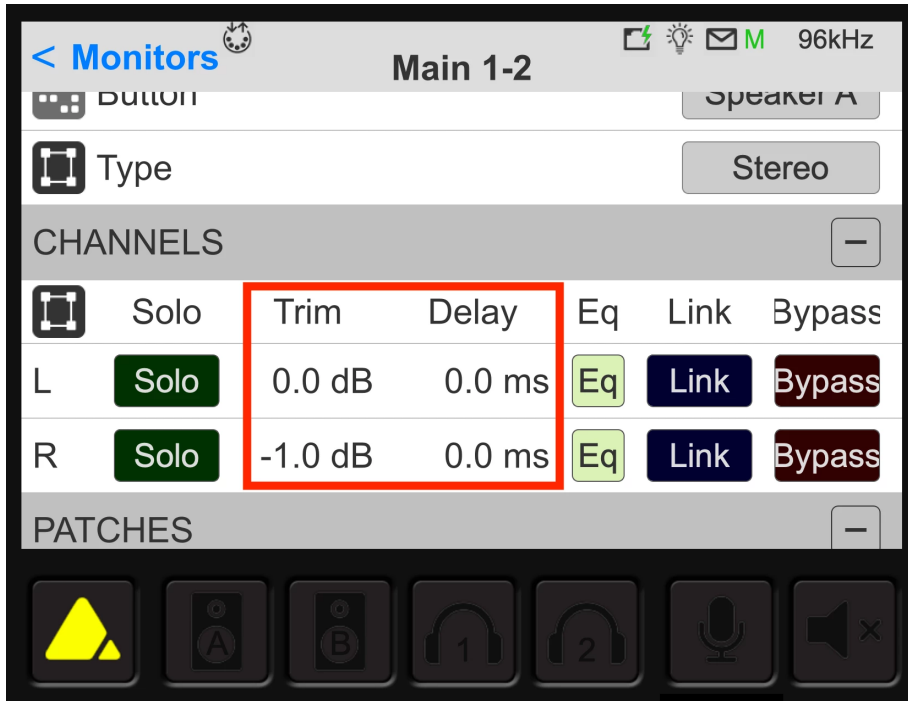
パラメーター名	SoundID Referenceからエクスポートされるか？	インポート時にAnubisで読むか？
Target Mode (Flat, Custom, Translation Check)	Yes	Yes
Frequency Response curve	Yes	Yes
Listening Spot (Volume and timing differences measured between the speakers)	Yes	No(マニュアル インポートは下記を参照!)
Limit Controls (Frequency range affected by calibration)	Yes	Yes
Safe Headroom	Yes	No(マニュアル インポートは下記を参照!)
Dry/Wet audio (Level of calibration applied)	Yes	Yes
Filter Type (Low Latency, Mixed or Linear Phase)	No	No(下記参照)



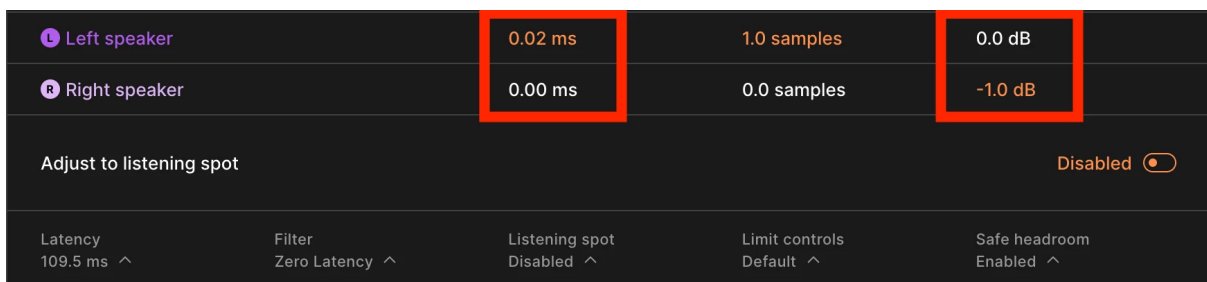
SoundUD Referenceソフトウェアから "Listening Spot" 情報を Anubis にマニュアルトランスファーする方法

Listening Spot 情報は、基本的にスピーカー間のタイミングとレベルの差の測定値です。

これらの情報は、SoundID Referenceソフトウェアから読み取り、Anubisで該当するスピーカーセットの設定に手動で追加することができます。



Listening Spot 情報は、SoundID Referenceソフトウェアの下図の部分です：



注意：

この記事を書いている時点では、最小遅延は0.0msで、最初の増分は 1.4msです。1.4msから0.1ms単位で遅延を増加させることができます。

したがって、例えば2つのスピーカーに0.6msの遅延を与えたい場合は、2ms(= 0.6 + 1.4ms)の遅延を使用するようにしてください。

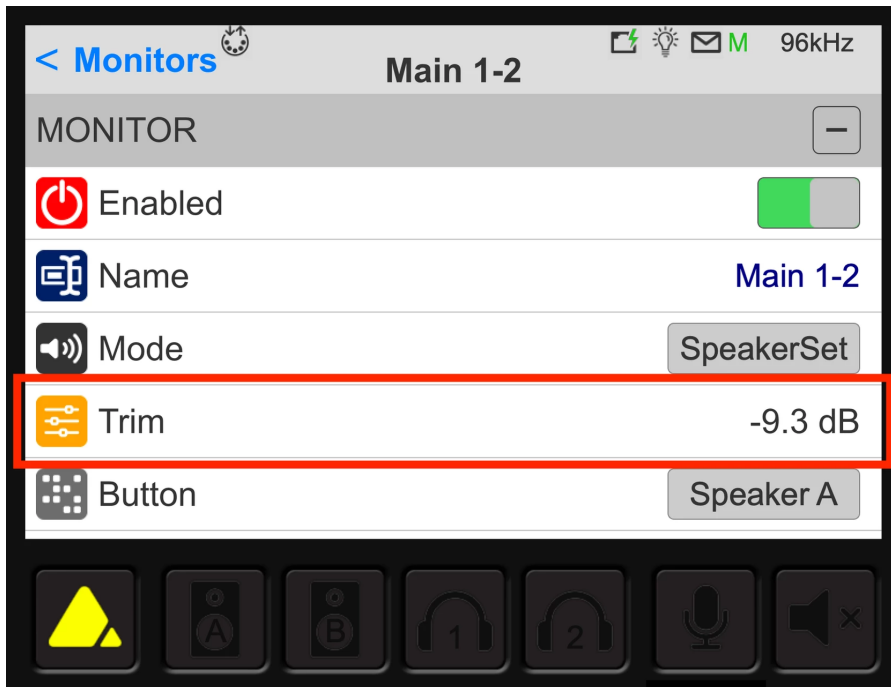
Merging Technologiesは、将来的に0~1.4msの範囲でより細かい遅延値を提供できるよう取り組んでいます。

Music Mission：現在、Music Missionでは遅延とトリムを使用することができません。そのため、スピーカーやアンプを調整し、ゲインやタイミングが最も低くなるように調整することをお勧めします。

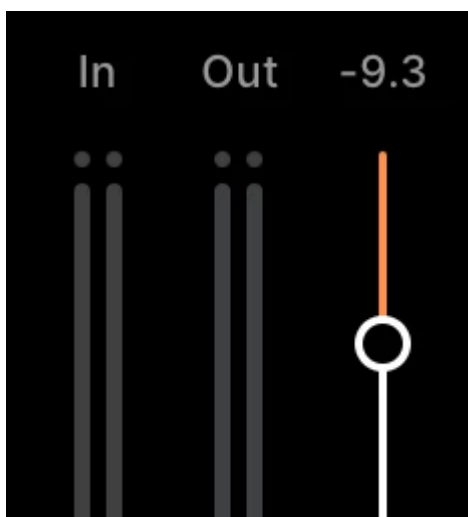


SoundUD Referenceソフトウェアから "Safe Headroom" 情報を Anubis にマニュアルトランスファーする方法

"Safe Headroom" 情報は、基本的に補正結果から出力がクリップするのを防ぐための最大トリム値です。したがって、安全なヘッドルームは、該当するスピーカーセットの設定における最大トリム値として使用することができます。



"Safe Headroom" の情報は、SoundID Referenceソフトウェアから、"Safe Headroom" を有効にし、SoundID Referenceの出力ゲインを最大にすることで確認することができます。



Filter タイプ

SoundID Reference単体では3種類のフィルター (low latency, mixed, linear phase) が用意されていますが、AnubisではPyramixで定評のある EQ-X フィルタートポロジーによるSoundID Referenceの補正を可能にしています。



EQ-Xは、長年にわたり、世界中の何千もの受賞レコードのマスタリングに使用されているマスタリングEQです。

このEQ-Xの超精密イコライザーのフィルターデザインは、最高のオーディオ解像度に対応するために特別に最適化されており、可聴範囲(および非可聴範囲)全体を通して非常に低いノイズと歪み(通常は-110dBを超えるTHD+N)を提供します。もちろん、この新しいデジタルフィルターのトポロジーは、ハイサンプリングレートを考慮して設計されていますが、1FSイコライゼーションに追加された場合でも利点と低ノイズも提供します。